



Future Venture Capital

株主通信

第 22 期第 2 四半期

(2019 年 4 月 1 日～2019 年 9 月 30 日)



株主の皆さまには、平素より当社事業にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第 22 期第 2 四半期の当社の取り巻く環境及び活動状況をご報告申し上げます。

当第 2 四半期の新規上場市場は、30 社と前年同期の 49 社と比べて減少しており、新規上場を目指す企業群にとっては厳しい環境が形成されております。一方ベンチャー投資環境では、大企業にとってオープンイノベーションは必須の戦略となっており、CVC ファンドの設立取り組み促進のニーズも高まってきております。

このような環境の中で、当社におきましては、ファンドの管理報酬を主軸とする安定収入の獲得に向けて新規ファンドの設立に注力してまいりました。その結果、地方創生ファンドとして、第一勧業信用組合、全国信用協同組合連合会、恒信サービス株式会社と共同でかんしん事業承継支援ファンドを、諏訪信用金庫と共同で SUWASHIN 地域応援ファンド 1 号を、徳島銀行、香川銀行と共同で地域とトモニファンドを、さらには大阪信用金庫と 3 つ目となるおおさか事業承継・創業支援ファンドを同金庫、大阪信用保証協会と共同で設立しました。かんしん事業承継支援ファンドとおおさか事業承継・創業支援ファンドは、後継者への事業承継に伴い、一時的引き受け先としてのファンドに対するニーズの増加に対応するため、「地方創生ファンド」の枠組みを活用した事業承継支援を目的とする「事業承継支援ファンド」を初めて設立したものです。(2-3 頁参照)

これらの取り組みを進めてまいりましたが、いわゆるクラシカルなベンチャーキャピタル業務からイノベーションとリスクマネー供給のためのプラットフォーム会社へと事業モデルの変革に取り組んでおり、人員体制の強化等により費用が先行していること、また固定的費用の改善はあったものの、営業投資有価証券の売却減少により当第 2 四半期最終損益（親会社株主に帰属する当期純損益）は赤字着地となりました。(6-7 頁参照)

今日に至るまで支えていただいた株主の皆さまには、改めて感謝申し上げます。今後も、当社のミッションである「100 年継続企業を創る」を達成するために、持続的な成長を目指してまいります。

引き続き、株主の皆さまには変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

第 22 期第 2 四半期の振り返り

新設ファンド

当第 2 四半期において、地域金融機関と連携した地方創生ファンドを 4 本設立しました。

かんしん事業承継ファンド

正式名称	かんしん事業承継支援投資事業有限責任組合
ファンド総額	300 百万円
設立日	2019 年 5 月 31 日
組員構成	有限責任組員：第一勧業信用組合、全国信用協同組合連合会 無限責任組員：恒信サービス株式会社、FVC
運用期間	10 年
投資対象	東京都に本店又は支店を有する中小の事業者（事業承継支援を主目的とする）

SUWASHIN 地域応援ファンド 1 号

正式名称	SUWASHIN 地域応援ファンド 1 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	500 百万円
設立日	2019 年 8 月 5 日
組員構成	有限責任組員：諏訪信用金庫 無限責任組員：FVC
運用期間	8 年（最長 2 年の延長可能）
投資対象	有限責任組員の営業エリアに本社又は拠点を持つ、創業期の企業・第二創業に取り組む企業、事業承継を必要とする企業、その他地域経済の活性化に資する企業

地域とトモニファンド

正式名称	地域とトモニ 1 号投資事業有限責任組合
ファンド総額	701 百万円
設立日	2019 年 9 月 20 日
組員構成	有限責任組員：株式会社徳島銀行、株式会社香川銀行 無限責任組員：FVC
運用期間	2028 年 12 月 31 日まで（最長 2 年の延長可能）
投資対象	有限責任組員の営業エリアに本社又は拠点を持つ、創業期の企業・第二創業に取り組む企業、事業承継を必要とする企業、その他地域経済の活性化に資する企業

おおさか事業承継・創業支援ファンド

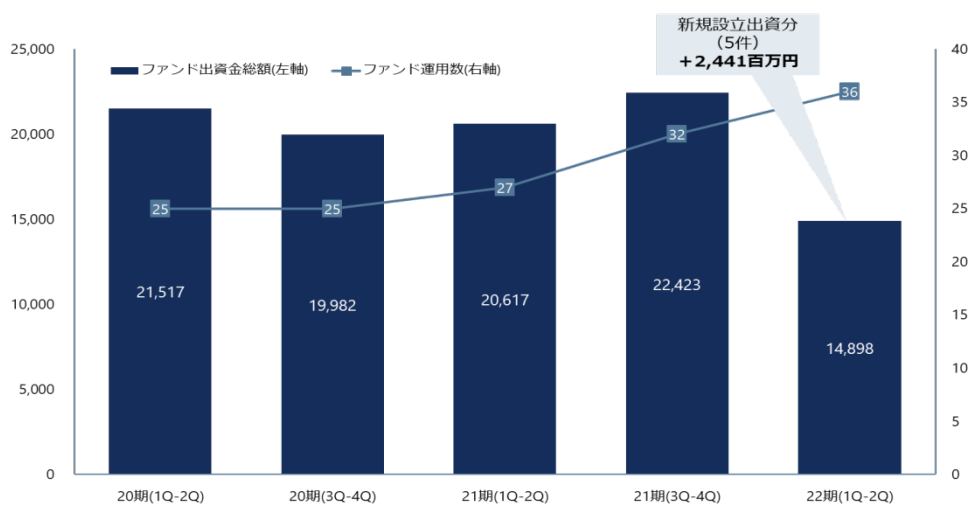
正式名称	おおさか事業承継・創業支援投資事業有限責任組合
ファンド総額	500 百万円
設立日	2019 年 9 月 30 日
組員構成	有限責任組員：大阪信用金庫、大阪信用保証協会 無限責任組員：FVC
運用期間	10 年（最長 2 年の延長可能）
投資対象	有限責任組員の営業エリアに本店又は支店を有する中小の事業者

22期の取り組み

当期の最重要課題は、安定収益源確保のために、ニーズの高さを見せる「地方創生ファンド」と「CVCファンド」の新規設立の促進、ファンドの新規設立件数を拡大するために、人材強化と営業戦略の再構築を実施、さらにはベンチャー企業への支援メニューの拡充と、ファンド運営の効率化を図るための新たなプラットフォームを構築してまいります。

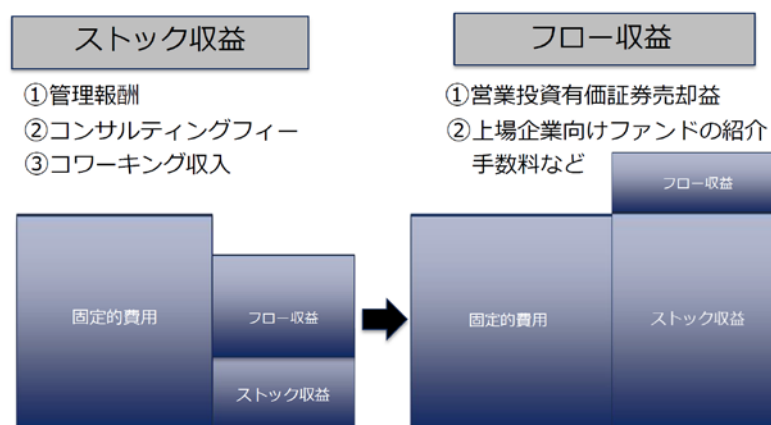
ファンド運用状況の推移

新たに5本設立し、運用総数が37本に、グロースファンドが分配完了し100億円減少しましたが、清算手続中であったため損益への影響は軽微となっております。



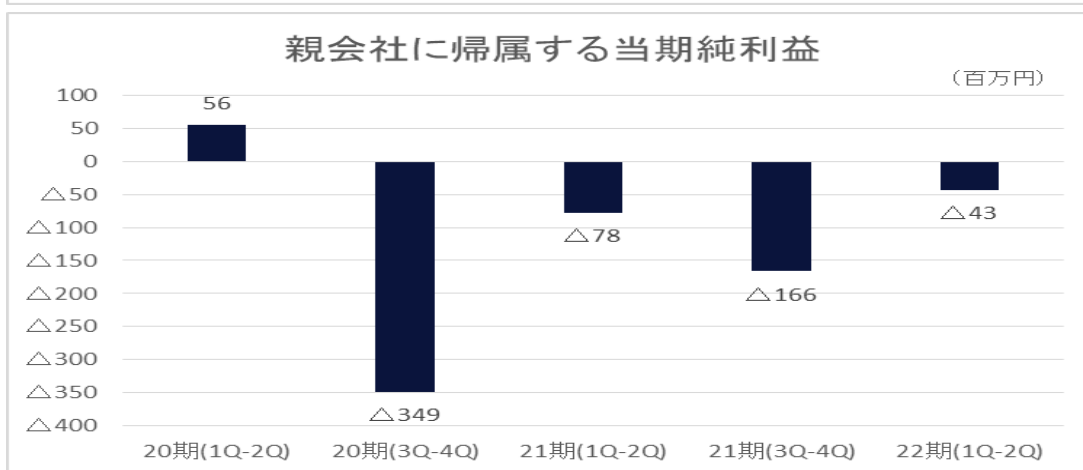
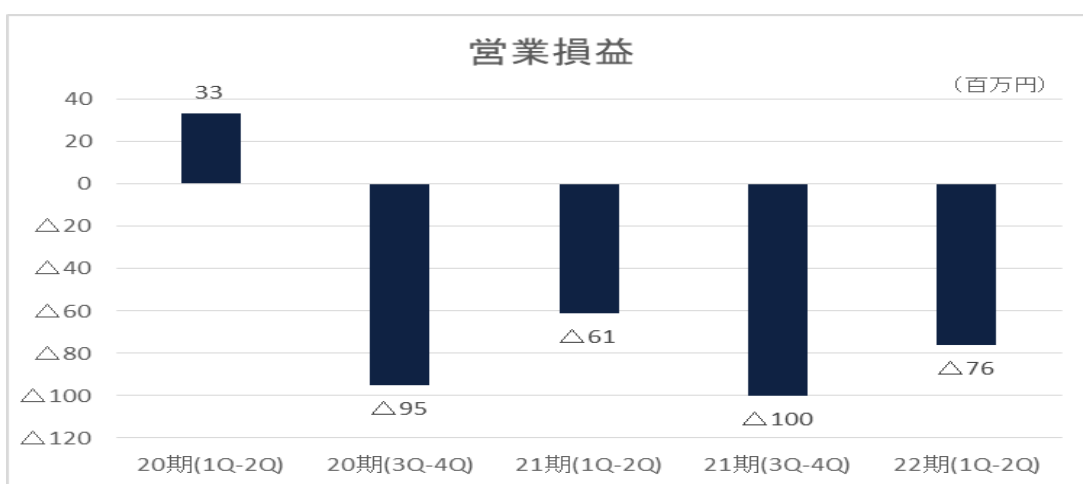
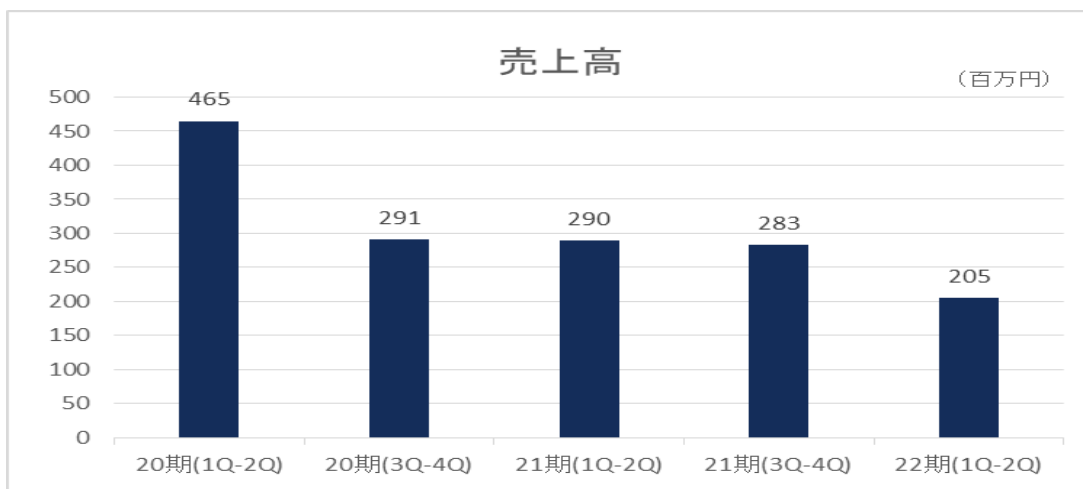
当社の収益バランス

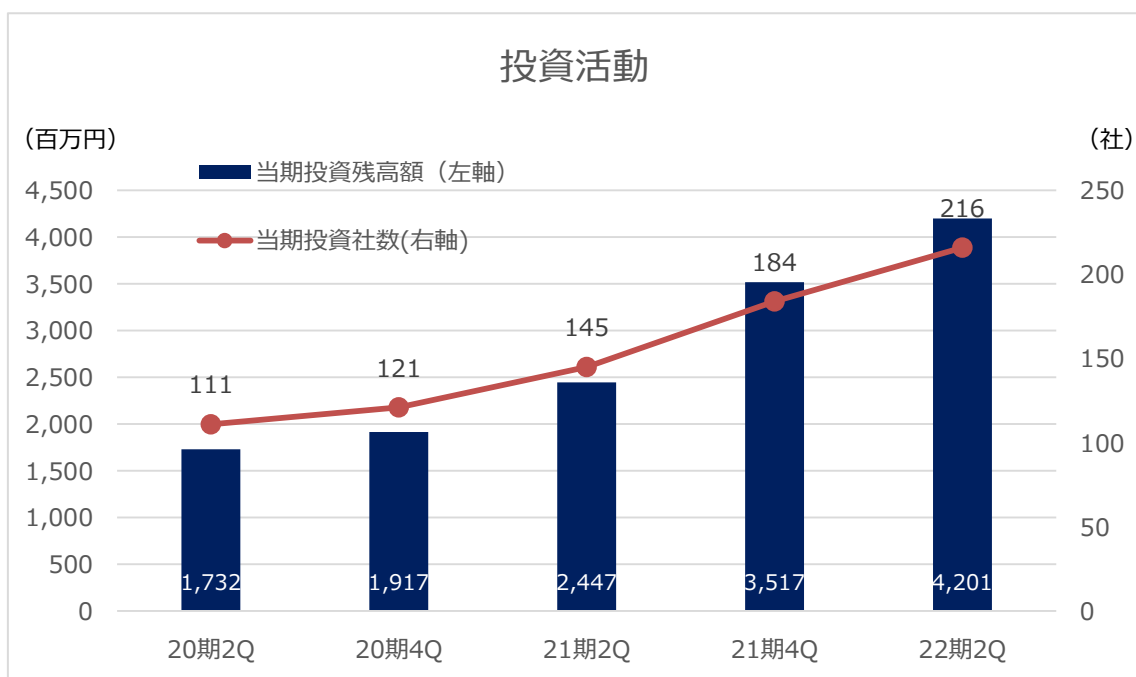
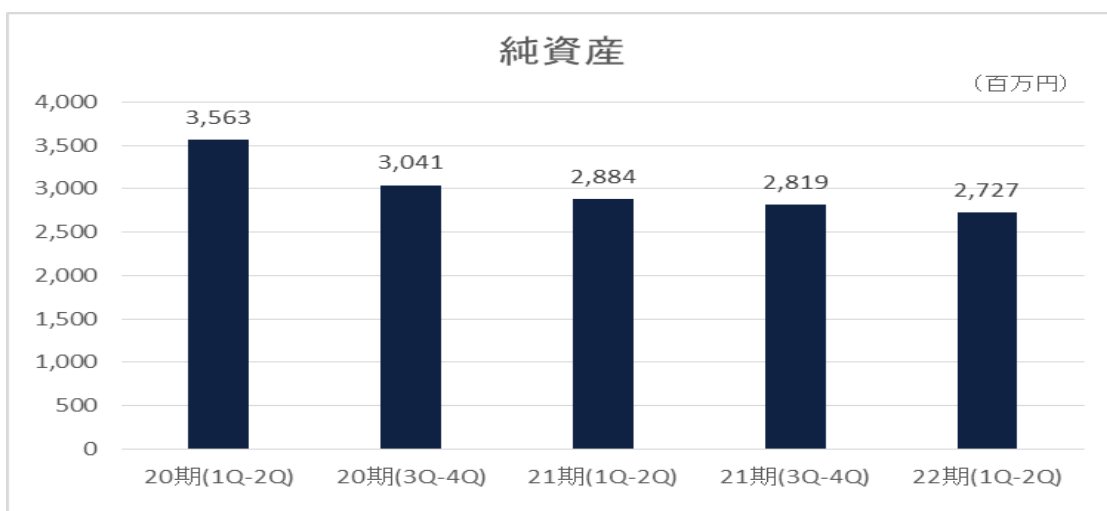
■ 当社は固定的にかかる費用の全てをストック収益で賄うことで、経営の安定化を図るよう進めており、固定費カバー率が52%から64%になり12ポイント改善されました。



$$\text{固定費カバー率} = \frac{\text{ストック収益}}{\text{固定的費用}}$$

業績ハイライト





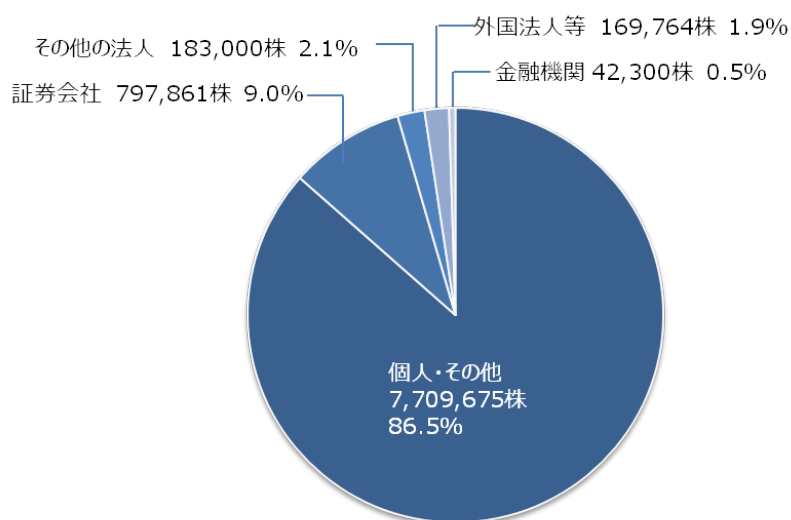
当期投資残高数は 32 社、投資残高額は 684 百万円それぞれ増加し、また新規ファンドの設立も順調に推移しております。一方、売上高は営業投資有価証券の売却高の減少から 205 百万円と前年比 85 百万円の減収となり、固定的費用は減少したものの、親会社株主に帰属する当期純損益は、43 百万円の赤字着地となりました。

株式データ

株式数および株主数

- ・会社が発行する株式の総数 18,000,000 株
- ・発行済株式数 8,902,600 株
- ・株主数 9,406 人

所有者別株式分布表



大株主の状況

株主名	所有持株数	持株比率
株式会社 SBI 証券	242,689 株	2.72%
楽天証券株式会社	134,900 株	1.51%
岩井コスモ証券株式会社	110,500 株	1.24%
松井証券株式会社	61,500 株	0.69%
土師 裕二	60,000 株	0.67%
三菱 UFJ モルガンスタンレー証券株式会社	54,200 株	0.60%
細川 雅史	53,500 株	0.60%
チョウ テイ	47,400 株	0.53%
大塚 英示	38,700 株	0.43%
GMO クリック証券株式会社	37,800 株	0.42%

会社概要

社 名 フューチャーベンチャーキャピタル株式会社
設 立 1998年9月11日
資 本 金 1,943百万円
従業員数 39名(連結)
本 社 〒604-8152
京都府京都市中京区烏丸通錦小路上ル手洗水町 659 番地 烏丸中央ビル
TEL.075-257-2511 (管理部) 075-257-6656 (営業部門)
FAX.075-211-1601

東京営業所 〒106-0032
東京都港区六本木7丁目15番7号 新六本木ビル SENQ 六本木
TEL.03-6262-5367

愛媛事務所 〒790-0012
愛媛県松山市湊町4丁目5番6号 プロGRESS松山
TEL.089-915-3677 FAX.089-913-2750

FVC Tohoku 〒020-0022
株式会社 岩手県盛岡市大通3丁目6番12号 開運橋センタービル3階
TEL.019-606-3558 FAX.019-606-3568

役員

代表取締役社長	松本直人	取 締 役	守屋 実
取 締 役	小川忠久	取 締 役	小尾一介
取 締 役	塩本洋千	取締役監査等委員	木村 純
取締役監査等委員	宮田秀典	取締役監査等委員	北條明宏

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	株式会社アイ・アール ジャパン
同連絡先	〒100-6026 東京都千代田区霞が関三丁目2番5号 株式会社アイ・アール ジャパン 証券代行業務部 TEL.0120-975-960 (フリーダイヤル)
上場金融商品取引所	東京証券取引所 JASDAQ 市場
証券コード	8462
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載 URL http://www.fvc.co.jp/

(ご注意)

株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人（株式会社アイ・アール ジャパン）ではお手続きできませんのでご注意ください。